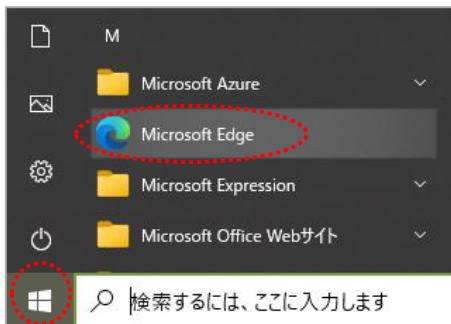


STEP1. ダウンロード&インストール

① Windows8.1の場合
「スタート」、「↓のアイコン(すべてのアプリ)」「Microsoft Edge」を順にクリック



Windows10の場合
「スタート」、「Microsoft Edge」を順にクリック



※ Windows8.1~10以外の手順は下記よりダウンロードいただけます。

DSPViewer2ダウンロードページ
<https://www.artis.co.jp/DSPViewer>

② アドレスバーに以下を入力し、Enterを押す

<https://www.artis.co.jp/DSPViewer>



③ 「ダウンロードはこちら」をクリックし、続いて「開く」をクリック



④ 「インストール」をクリック



※ 「WindowsによってPCが保護されました」という警告が出た場合、「詳細情報」、「実行」を順にクリックします。



⑤ 「DSPViewer」が起動すればインストール完了



STEP2. 起動&ログイン

⑥ デスクトップの「DSPViewer2」アイコンをダブルクリック

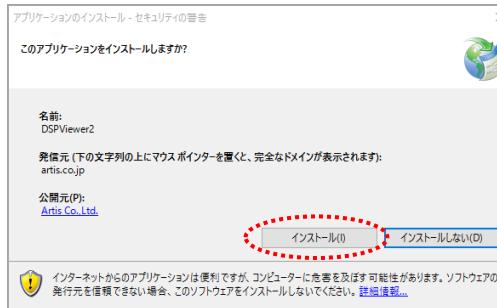


※ スタートメニューからも起動可能です。

「スタート」、「DSPViewer2」を順にクリック
(PCによっては「スタート」、「Artis」、「DSPViewer2」となる場合がございます。)

※ 「アプリケーションのインストール」が起動した場合「インストール」をクリックします。

※ DSPViewer2は起動時に最新バージョンを確認し、新バージョンがあれば自動的に更新しますが、その際「アプリケーションのインストール」が起動する場合がございます。



⑦ DSPViewer2起動後、アドレスバーに勤務先で指定されたURLを入力し、Enterを押す



⑧ ID&パスワードを入力し、「ログイン」をクリック

※ログイン画面は勤務先によって異なります。



完了

動作環境・制限事項

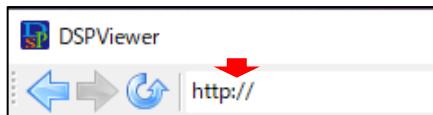
・動作環境
対応オペレーティングシステム等の動作環境については、DSPViewer2ダウンロードページをご覧ください。
<https://www.artis.co.jp/DSPViewer>

・制限事項
DSPViewer2の起動にあたって、PCのスクリーンキャプチャ機能を無効化します。
DSPViewer2をご利用の際、下記のメッセージが出た場合は、指定されたキャプチャソフトを終了のうえ、DSPViewer2をご利用ください。
「キャプチャソフトが検出されました。〇〇を終了させてください。」

困った時の対処法

ログインページが開けない

- よくある原因①
「https://*****」の「s」の部分が抜けている



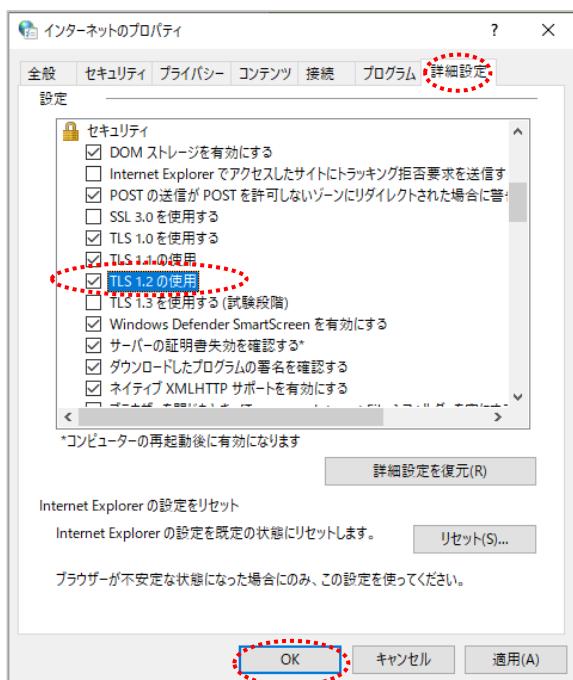
＜対処方法＞
アドレスを確認し、正確に入力してください。

- よくある原因②
セキュリティソフトにより、動作が制限されている

＜対処方法＞
セキュリティソフトの設定でサイトのURLを安全リスト（許可リスト）に追加してください。
※ ご使用のソフトにより設定方法は異なります。詳しくは各セキュリティソフト販売会社のホームページ等でご確認ください。

- よくある原因③
ブラウザでTLS（通信の暗号化）を利用不可に設定している

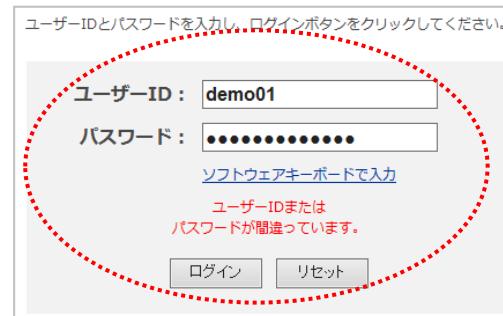
＜対処方法＞
以下を実行してください。
1. インターネットオプションを起動
2. 「詳細設定」タブを選択
3. セキュリティ項目で「TLS 1.2の使用」にチェックする
4. 「OK」をクリック
※ チェックが無い場合、TLSのページは表示されません。



ログインができない

- IDもしくはパスワードが相違している場合

＜対処方法＞
勤務先から付与されたユーザーIDとパスワードをもう一度確認して、正確に入力してください。



- パスワードロックがかかってしまった場合

＜対処方法＞
ロックの解除について、勤務先の所管部署にお問い合わせください。

※ 連続してパスワードを間違えるとロックがかかり、ログインができなくなりますのでご注意ください。



困った時の対処法

「PDFビューアが見つかりませんでした」と表示される

- Adobe Acrobat Readerをインストールしていない場合

＜対処方法＞
下記アドレスのサイトから「Adobe Acrobat Reader DC」をインストールしてください。
<https://get.adobe.com/reader?loc=jp>



インストール後、Adobe Acrobat Reader DCを起動します。ライセンス条項が表示されるので同意し、再度DSPViewer2の起動をお試しください。

- Adobe Acrobat Readerをインストールしている場合

＜対処方法＞
以下を実行してください。

1. Windows Update を全て適用し、PCを最新の状態にする
2. デスクトップ上の「DSPViewer2」のアイコンを削除
3. コントロールパネルを開き「プログラムと機能」（または「プログラムのアンインストール」）を選択
4. プログラム一覧の中から「DSPViewer2」をダブルクリック
5. 「このコンピュータからアプリケーションを削除します。」にチェックされていることを確認し「OK」をクリック
6. エクスプローラを起動し、以下を入力
「%UserProfile%\AppData\Local\Apps」
7. 「6」で表示された「2.0」フォルダを削除
8. ウイルス対策ソフトを一時的に無効化する
9. 以下DSPViewer2ダウンロードサイトにアクセスし、「DSPViewer2」を再度インストールする
<https://www.artis.co.jp/DSPViewer>

「アプリケーションのベンダにお問い合わせください」と表示される

『「PDFビューアが見つかりませんでした」と表示される』の『Adobe Acrobat Readerをインストールしている場合』の手順をお試しください。

「SkypeApp.exeを終了させてください」と表示される

＜対処方法＞

- 以下手順でバックグラウンド起動しているSkypeを終了してください。
1. キーボードの「Ctrl」、「Alt」、「Delete」を同時押しする
 2. 「タスクマネージャ」を起動
 3. 簡易表示されている場合は「詳細」をクリックして詳細表示に切り替える（「プロセス」、「パフォーマンス」等のタブがあれば詳細表示になっている）
 4. 「アプリ」もしくは「バックグラウンドプロセス」にSkypeが表示されているので右クリック⇒「タスクの終了」をクリック

- バックグラウンドでの自動起動は以下手順で防止可能です。
1. スタートメニューを開き「設定」アプリを開く
 2. 「プライバシー」⇒「バックグラウンドアプリ」を順にクリック
 3. 「アプリのバックグラウンド実行を許可する」のチェックボックスをオフにする。もしくは「Skype」のチェックボックスをオフにする。

「GameBar.exeを終了させてください」と表示される

＜対処方法＞

- 『「SkypeApp.exeを終了させてください」と表示される』と同様の対処を行ってください。
※SkypeAppならびにSkypeを適宜GameBarに読みかえてください。

「エラー状態 0xc000012f」と表示され、DSPViewer2が終了する

＜対処方法＞

①Windows Updateの実行
Windows Updateを実行し、PCを最新の状態にしてください。

Windows10の手順
<https://support.microsoft.com/ja-jp/help/4027667/windows-10-update>

Windows8.1の手順
https://msrc-blog.microsoft.com/2018/10/18/wumusteps_win81/

②NEC LavieのInfoBoardの無効化

NECのLavieパソコンをお使いの場合、InfoBoardという機能の影響を受けている可能性があります。無効化もしくはアンインストールしてください。

無効化手順
<https://faq.nec-lavie.jp/qasearch/1007/app/servlet/relatedqa?QID=019883>

アンインストール手順
<https://faq.nec-lavie.jp/qasearch/1007/app/servlet/relatedqa?QID=019921>

「キャプチャーソフトが検出されました」と表示される

＜対処方法＞

- 以下手順でキャプチャーソフトを終了してください。
1. キーボードの「Ctrl」、「Alt」、「Delete」を同時押しする
 2. 「タスクマネージャ」を起動
 3. 簡易表示されている場合は「詳細」をクリックして詳細表示に切り替える（「プロセス」、「パフォーマンス」等のタブがあれば詳細表示になっている）
 4. 「アプリ」もしくは「バックグラウンドプロセス」からキャプチャーソフトを探し、右クリック⇒「タスクの終了」をクリック

※「アプリ」や「バックグラウンドプロセス」にキャプチャーソフトが見当たらない場合、タスクマネージャの「詳細」タブから探して終了してください。
なお、「詳細」に表示されるプロセスは同時ログイン中の他のWindowsユーザーが起動しているプロセスの可能性がありますので、終了する際はご注意ください。